

## 健康局

Health Service Bureau

すべての人の健康を  
守り、支える

## Our Mission

国民の皆さんの健康寿命の延伸が図られ、一人ひとりが健康で質の高い生活を送り、それぞれの能力を発揮して活躍できる社会の実現に向けて、健康局では、健康づくりやがん対策、公衆衛生対策に全力で取り組んでいます。また、難病の克服と患者の方々の地域社会での共生を後押しし、国内外で発生する感染症には、様々な事態を想定して備えを充実させています。

## 部局の所掌分野

## 健康づくり

健康寿命を延ばし、誰もがより長く元気に活躍できる社会を目指して、生活習慣病予防等を推進しています。企業や地域を巻き込み、健康な食事や運動ができる環境整備など健康づくりの取組を支援しています。

## がん対策

がんの克服を目指して、がんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、さまざまながんの病態に応じて、いつでもどこにいても、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、尊厳を持って暮らしていくことができるよう、取組を進めています。

## 感染症対策

国境を越えて人類を脅かす感染症から国民の皆さんを守るため、検疫体制の強化や予防接種の徹底、治療薬の研究開発の推進、抗菌薬の適正使用等に取り組んでいます。



AMR対策啓発ポスター  
(2017.9~2018.3)  
© 創通・サンライズ

## 難病対策

治療法が確立していない希少な疾病を患っている方々が、長期の療養生活を送りながらも、地域で安心して暮らせるよう、医療費の助成、早期診断と医療環境の整備、治療法の開発に向けた研究の促進に取り組んでいます。

## 政策紹介

## 01 望まない受動喫煙のない社会へ

他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることを「受動喫煙」といいます。受動喫煙をうけると肺がんなどのリスクが上昇します。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックも契機として、望まない受動喫煙を防止するため健康増進法の改正がなされました。国民の皆さんの健康増進につながるよう、対策を進めています。



## 02 がんを知り、がんの克服を目指す

がんは、昭和56年以降、我が国における死因の第1位であり、生涯のうち2人に1人ががんになるとされています。がんは依然として国民の生命と健康にとって重大な課題です。

がん対策を総合的かつ計画的に推進することを目的に策定したがん対策推進基本計画に基づき、「がん予防」、「がん医療の充実」、「がんとの共生」を柱に、対策を進めています。

がんの克服を目指し、今後もがん対策に全力で取り組んでいきます。

03 感染症の発生・蔓延を予防し、  
国民の安心・安全を支える

鳥インフルエンザやエボラ出血熱など人・モノの国際的な移動の活発化に伴い感染症の危機は国境を越えて迫っています。これまでも検疫所の機能強化による流入防止、国内発生時の行政や医療機関の対応力強化に取り組んできましたが、さらに、東京オリンピック・パラリンピックに向け取組を強化します。

国民の皆さんには平時から感染症に対する正しい知識の普及と予防接種等の予防策を推進することで、安心・安全の確保に努めています。特に、平成30年7月頃から風しんの患者数が増加したため、これまで予防接種法による定期接種を受ける機会が

なかった男性に対して抗体検査と予防接種を組み合わせ実施する新たな対策を取りまとめ、推進しています。

さらに、近年世界的な問題となっている抗生物質の効かない薬剤耐性菌については、アジアのリーダーとして各国を主導して薬剤耐性(AMR)対策を行っています。



咳エチケット啓発ポスター  
(2017.12~2019.3)  
© 諫山創・講談社/  
「進撃の巨人」製作委員会



風しん対策啓発ポスター  
(2019.2~)  
© 北条司/NSP・  
「2019 劇場版シティーハンター」  
製作委員会

## Hot Topics

## がん免疫療法

平成30年、本庶佑先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。がん免疫療法の研究が、がんにも苦しむ方々に大きな希望をもたらしています。

厚生労働省としても、引き続き、がん対策推進につながるがん研究を積極的に支援していきます。

## ナイトヨガ

平成30年9月には「健康増進普及月間」のイベントとして「ナイトヨガ」を神宮球場で開催しました。約1,000人の方に普段は入れない神宮球場のグラウンドで、ヨガを楽しんでいただきました。これからは厚生労働省では、スポーツ庁とも連携しながら、男女を問わず、運動をはじめのきっかけづくりを進めていきます。



神宮球場でナイトヨガを楽しむ参加者の皆さん